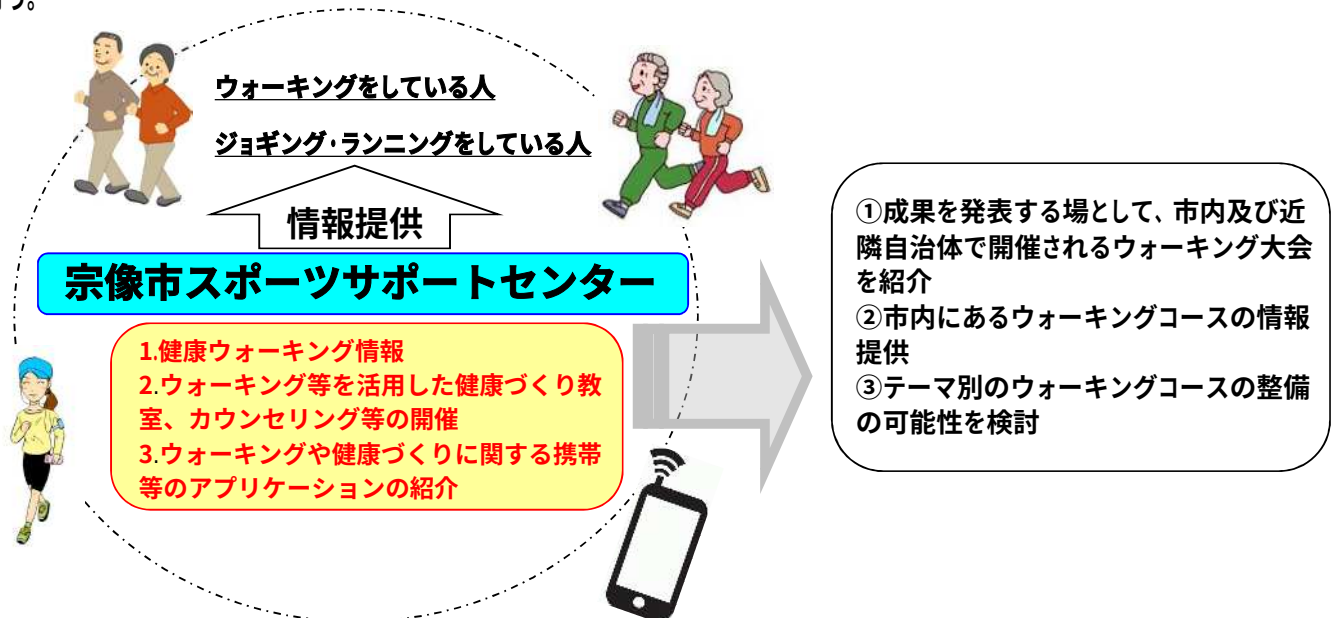


1 スポーツ・運動を通じた市民健康活動の推進

誰もが気軽に取り組むことができるウォーキングやジョギング、体操等を市民が習慣化できる仕組みや機会を提供し、「健康で元気な宗像市民」を増やす。

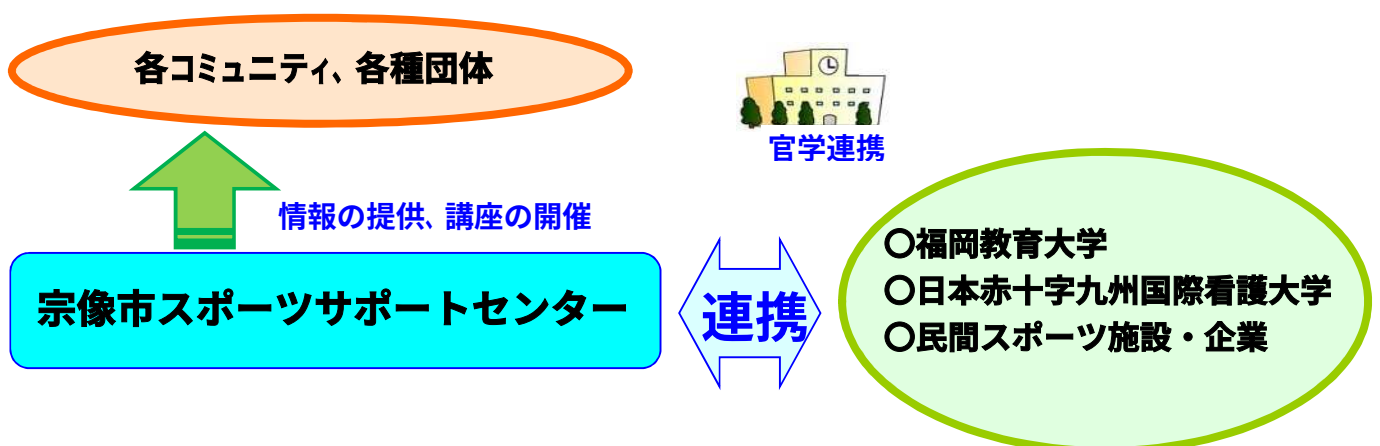
市民エンジョイ・ウォーキング事業

ウォーキングマップなどの情報の提供やウォーキングを活用した健康づくり教室の開催、アプリケーションの紹介を行う。



大学、企業、地域等との連携による市民の健康活動の促進

地域住民が自分に合ったペースで楽しく、笑顔で健康づくり活動を行うことができるよう、支援を行う。



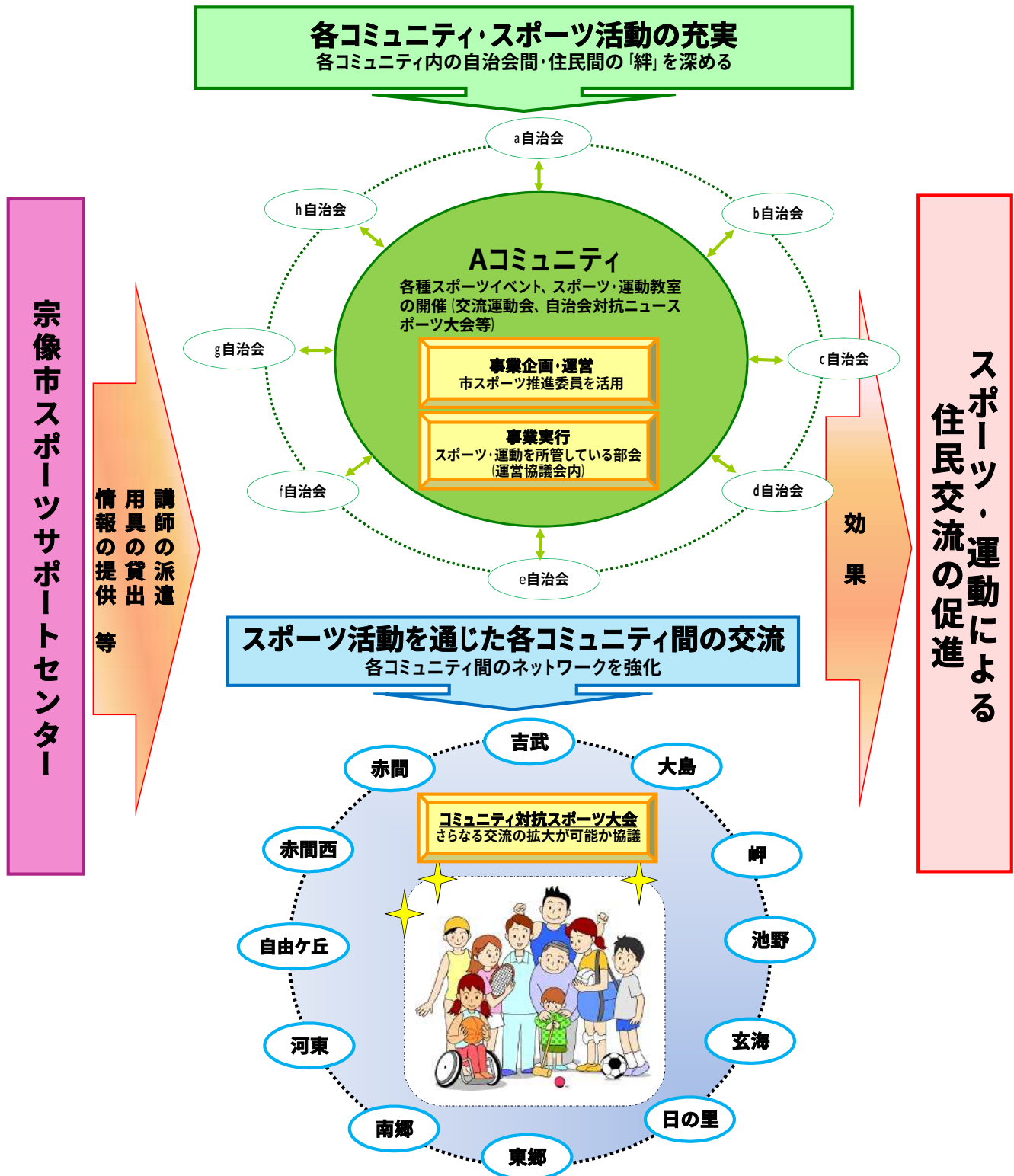
市全域を対象とした総合型スポーツクラブの設立・運営

国のスポーツ推進計画に基づく総合型地域スポーツクラブの質的充実に関する取り組みを注視しながら、調査研究を続けていく。



2 スポーツ・運動を通じたコミュニティ活動の活発化

コミュニティ内の住民交流をスポーツ・運動活動を通して促進するためのサポート体制を整備する。



活動内容を充実させるための取り組み

【実施メニュー】

- ①地域特性に合った住民交流スポーツプログラム企画・運営
（コミュニティごとに交流運動会や自治会対抗ニュースポーツ大会等の開催）
- ②コミュニティ対抗スポーツ大会に加え、更なる市民交流の拡大が可能であるか、協議

【仕組みづくり】

- ③コミュニティにおけるスポーツ活動の中心的役割を担うスポーツ推進委員に対し、研修などを実施し活動支援
- ④スポーツ、運動活動を促進するためのサポート体制の整備（スポーツサポートセンターからの講師派遣、備品貸出他）
- ⑤コミュニティにおける住民交流につながる運動・スポーツ活動の情報の収集、提供

3 子どものスポーツ機会の充実

将来にわたってスポーツ・運動をすることが好きになる子どもを増やしていく取組、体力向上のサポート体制の整備、指導者養成、学童スポーツ等の複数種目実施導入等を推進する。

- ★ スポーツ・運動を親しむ子どもを育てる
- ★ スポーツ・運動が好きな子どもを育てる
- ★ スポーツ・運動を楽しむことができる子どもを育てる

スマイルキッズプログラム

③ 中学校運動部活動の支援

- ・中学校運動部活動への指導者の派遣を行うため、地域人材の発掘や登録、学校との調整を実施



② 小学生の体力向上支援

- ・専門の指導員を体育の授業に派遣
- ・海洋性スポーツなど、体験型スポーツの提供
- ・小学生体力テストの支援



① 幼児期を対象とした支援

- ・幼児をもつ保護者向けに情報の提供、運動プログラムの開催



④ 社会体育等における活動の支援

- ・多種目体験プログラムの提供
- ・トップアスリートとの交流の場の創出
- ・社会体育の指導者への支援
- ・県のタレント発掘事業などの活用



スポーツ指導者体制の整備

① スポーツ指導者の育成及び活動支援

- ・スポーツ医学に基づいた適正な指導方法
- ・各種講習会・セミナーの開催

② 異種目間のスポーツ指導者のネットワーク化

- ・医科学的な研究に基づいた効果や指導方法を指導者間で共通認識するためのネットワーク構築方法について、調査研究を実施

③ 小中一貫教育による体力向上に向けた教職員の共通理解

- ・各学校が各学園(中学校区)と連携して作成している体力向上プランを引き続き実践



子どものスポーツ・運動を定着させるために

小学校体育授業及び中学校運動部活動の支援

- ・体育科授業等を通じた体力向上
- ・運動部活動への指導者派遣

異種目間のスポーツ指導者の共通理解(複数種目実施の環境)

- ・各種スポーツにおける指導方法を共有

スポーツ指導者の育成及び活動支援

- ・発達年齢に応じた適切な指導
- ・スポーツ障害を発生させない指導

指導者研修・派遣

宗像市スポーツサポートセンター

運動・スポーツプログラム開発・実施
スポーツ情報の発信等

支援

支援

4 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、障害の有無、興味・目的に応じて、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」安全にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備を図り、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。

【目標値】

成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 65%程度 (3人に2人)

***週1回以上運動・スポーツをしている人の割合43.5% (実績値)**

(割合 (実績値) は「平成30年度市民アンケート」結果による)

指導者研修・派遣
宗像市スポーツサポートセンター
運動・スポーツプログラム開発・実施
スポーツ情報の発信等

支援

ライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施

それぞれの体力や年齢、技術、障害の有無、興味・目的に応じたスポーツ・運動プログラムを開発・実施します。

- ・親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動プログラム
- ・20代・30代が参加できるスポーツ・運動プログラム
- ・全世代が参加できるウォーキング大会などの情報提供



支援

コミュニティにおけるスポーツ・運動活動、健康づくりの支援

各地区のコミュニティがスポーツ・運動教室を行う際は、運営面での指導・助言をはじめ、様々な支援を実施します。

- ・各種スポーツ・運動教室に対し、必要に応じて講師を派遣



支援

障がい者のスポーツ・運動活動の支援

関係機関・団体が連携し、障がい者のスポーツ・運動活動を推進するための調査研究を行います。その過程や結果を受け、障がい者のスポーツ機会を創出します。

- ・すべての市民に対し、障がい者スポーツに触れる機会の提供
- ・障がい者スポーツ等の情報の提供
- ・スポーツや運動活動を実施したい障がい者の支援



「いつでも」「どこでも」「いつまでも」安全にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けて

スポーツ・運動の現状

平成25年度実施「運動・スポーツ活動に関するアンケート」結果による

スポーツ・運動の希望頻度

- 週1回以上の運動を行う希望頻度 76.9%
- *希望頻度は高い**

スポーツ・運動をしていない、できない理由

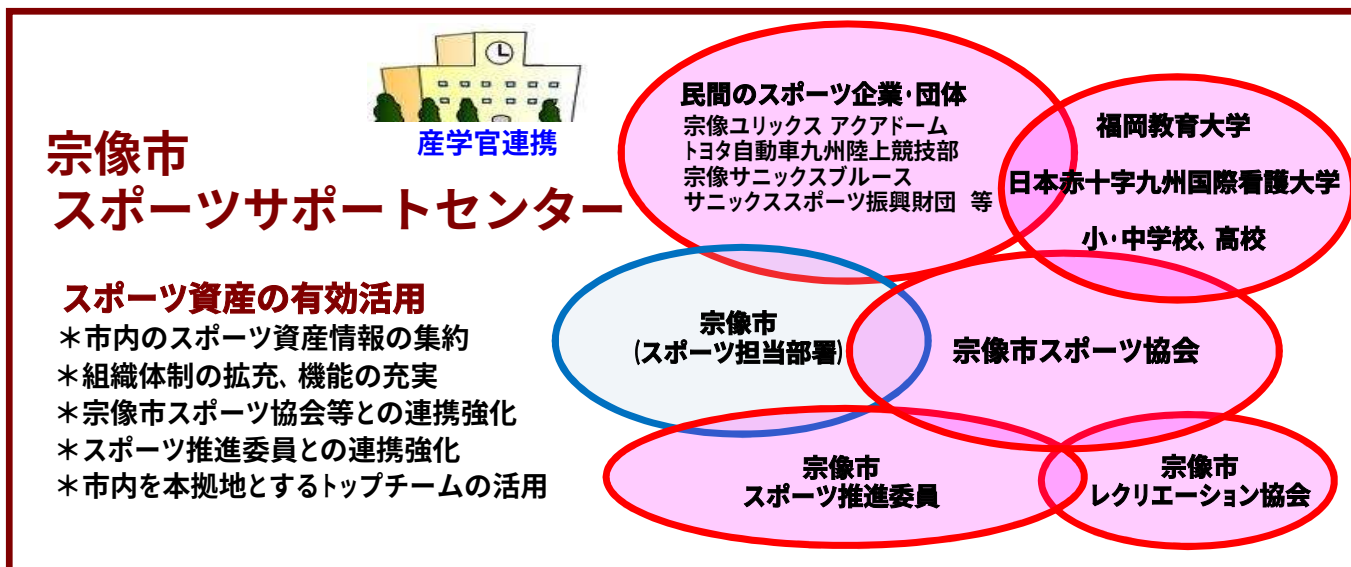
- 仕事が多忙
- 育児・家事が多忙
- 運動・スポーツが好きでない

スポーツ・運動を行うために必要な条件

- 一緒に活動する仲間
- 気軽に参加できるスポーツ教室
- 楽しめる運動や種目の増加

5 宗像市スポーツサポートセンターを活用し、住民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備

産学官が連携し、本市が有するノウハウ、人材、施設等のスポーツ資産を有効活用するため、スポーツサポートセンターを開設し、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「支える」「交わる」視点からも捉え、全市民が主体的に参画する地域スポーツ環境を整備する。



支 援

学校体育、地域スポーツ、健康づくり等、様々なスポーツ・運動シーン

市スポーツ協会等との連携

スポーツ関係団体・機関が一体となって地域スポーツ環境が向上できるような連携体制づくりの調査研究を行う。

スポーツ推進委員との連携強化

サポートセンターと地域のパイプ役かつ地域での運動活動のコーディネーターとしての役割を担えるよう、連携強化を図る。

市内を本拠地とするトップチームの活用

・市民応援団等、スポーツへの機運の醸成
・シティプロモーションの一つの柱

多面的連携

観る

ジャパンラグビートップリーグやプリンセス駅伝等、地元で開催されるトップスポーツを間近にみることは市民に夢や感動を与え、生涯にわたる様々なスポーツ活動のきっかけづくりに繋がることから、積極的な広報活動を通じて「観る」スポーツ活動を推進します。



支える

スポーツ団体やコミュニティと連携し、多くの市民ボランティアが地域のスポーツイベントやトップスポーツ大会、市主催のスポーツ大会等の運営や補助に携わるよう、スポーツ活動に欠かせない「支える」楽しさをより実感できるような内容の充実を図っていきます。



交わる

市内のトップチームや海外アスリートとの交流イベントを開催し、市民と選手が「交わる」機会を提供します。また、各種教室の開催や、選手・スタッフの地域行事等への参画を一層進め、スポーツを身近に感じ、スポーツが日常生活の一部となるよう市民との交流を促進します。



6 スポーツ観光による地域経済活性化

グローバルアリーナを中心に民間事業者と官民一体となった推進体制“むなかたスポーツコミッション（仮称）”を整備し、「市内宿泊者数の増加」や「市内周遊の促進」による観光促進に加え、市の認知度向上や新たな魅力の掲載やイメージアップにも取り組むことで、来訪者数や将来的な定住人口の増加につなげる。

(1) 全国・九州レベルのスポーツ大会の誘致・開催支援

宿泊を伴うスポーツ大会の誘致

Ex) プリンセス駅伝in宗像・福津、ブロック国体 etc

宿泊を伴うスポーツ大会の開催支援

Ex) サニックスワールドラグビーユース交流大会 etc



市内宿泊者数の増加

(2) スポーツ合宿の誘致活動の支援

宿泊を伴うスポーツ合宿・研修会の誘致

Ex) 実業団、大学、高校、青少年クラブの合宿
スポーツ指導者やトレーナー等の各種研修会



市内宿泊者数の増加

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地受入

Ex) 柔道ブルガリア代表、7人制ラグビーロシア女子代表



市の認知度向上
交流による新たな魅力創出

(3) 宿泊や市内周遊につながるスポーツ大会の開催・支援

グローバルアリーナと連携した大会・イベント開催

Ex) 市長杯グラウンドゴルフ大会、etc

民間主催のスポーツイベントの支援

Ex) 商工会青年部むなかたウォーキング、JR九州ウォーキング



市内消費拡大、観光PR

(4) むなかたスポーツコミッション（仮称）の体制の確立

上記取り組みの促進に向けたグローバルアリーナを中心とした体制づくり



7 スポーツ活動の場の確保

市体育館の開館日や小・中学校開放の拡大、高校・大学や民間スポーツ施設の活用、近隣市町のスポーツ施設の相互利用等について検討するとともに、市スポーツ施設の一元管理により利用者の利便性と施設の稼働性を高めるなどスポーツ活動の場の確保を図る。

既存の3つの市営体育館施設の運営

現在、既存の3つの市営体育館は毎週月曜日（月曜日が祝日の時は翌日）、お盆及び年末年始が休館日となっているが、開館日時の見直しなど市民に利用しやすい施設運営の在り方について調査研究を行う。

学校開放施設の運営

小・中学校の学校施設（主に体育館・運動場・武道場）の開放については、卓球場など、さらに開放が可能かどうか調査研究を行う。

市内のスポーツ施設の活用

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、市内のスポーツ資産情報の集約を行うとともに、市民への貸し出しが可能であるか調査を行う。

近隣市町のスポーツ施設の相互利用

関係市町で協定を交わすなど、スポーツ観光も視野に入れた相互利用の促進を行う。

市町村名	施設	数量
福津市	野球場	3
	多目的グラウンド	1
宮若市	野球場	1
	サッカー場	2



8 中核拠点となる施設の再構築と整備

体育館施設の整備

既存の3つの市営体育館については、宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画に基づき、今後も市民が安全に利用できるよう、保全改修を実施。また、大規模改修を含めた今後の施設のあり方、「観る」の視点の必要性、冷暖房設備設置の必要性など、将来の本市がどのような体育館施設を有すべきなのかの方向性を示す。

屋外スポーツ関連施設の整備

野球場を含めた屋外スポーツ関連施設については、宗像市公園施設長寿命化計画に沿って、今後も市民が安全に利用できるよう保全改修を行う。また、その整備については将来を見据え、施設ごとに拡充の必要性や近隣市町との相互利用などを含め、その方向性を示すため、今後の屋外スポーツ関連施設の在り方について調査研究を行う。

民間スポーツ施設の活用

市が保有しないサッカー等の球技場や陸上トラック（400m）は市独自には整備せず、民間のスポーツ施設を市営スポーツ施設の代替施設として活用を図るとともに、その代替施設が今後も活用できるような仕組みについて調査研究を行う。

宗像ユリックスのスポーツ施設

宗像ユリックスの保全改修計画に基づき市民の身近な施設として安全に利用できるよう、保全改修を行う。

